

## 評価細目の第三者評価結果

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園の教育・保育理念を明確に掲げ、これに基づく基本方針及び教育・保育目標を明文化し、園運営の基軸としている。理念・基本方針・目標については、職員会議等を通じた職員間での共有を図るとともに、園内掲示やホームページ作成への取り組みを通じて保護者への周知にも努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

#### Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育に関する制度動向については、市担当課や園長会議、関係機関・団体からの情報提供および各種研修への参加を通じて、継続的な情報収集に努めている。また、日常的な保育実践を通じて地域の福祉・子育てニーズの把握に努め、ニーズに即した園運営に取り組んでいる。令和7年度には認定こども園へ移行し、未満児クラスの定員増等、地域ニーズに即した教育・保育体制の充実を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の子育てニーズへの対応、人材確保・育成・定着、保育の質の向上、施設整備、地域貢献、経営体質の強化等、具体的な経営課題を明確化し、改善に向けた取り組みを進めている。令和6年度から着手した園舎の建て替えは令和7年度中の竣工を予定しており、園児数と職員数のバランスを分析しながら受け入れ体制の最適化を図るとともに、ICT化の推進に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の子育てニーズの動向や子どもの人口推移を分析し、受け入れ体制の最適化を図りながら、中・長期的なビジョンに基づく計画を策定している。職員確保・育成及び保育の質の向上を柱とした中・長期計画のもと、法人のスーパーバイザーや大学教授による継続的な研修を通じて、質の高い保育の実践に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画は中・長期計画を踏まえ年度単位で策定しており、保育・児童福祉制度の動向や地域の子育てニーズを反映した内容となっている。人材確保・育成を重要課題と位置づけ、多様な経験を持つ職員がそれぞれの強みを発揮できるバランスのとれた職員配置に努めている。また、変化する社会情勢を継続的に把握し、事業計画へ反映させている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・㉠・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>計画は職員の意見を取り入れながら作成・見直しを行い、年度当初の職員会議や研修等を通じて周知を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
保育業務の特性上、全職員が参加できる会議の開催が困難な場合もあり、周知徹底のあり方について検討が求められる。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画は年度当初に年間計画を配布するとともに、園だよりやクラス通信を通じて保護者への継続的な情報発信に努めている。各行事後のアンケートにより保護者の意向を把握し、次年度の計画に反映させる仕組みを整えている。また、保護者会役員との事前調整や園内掲示・入園説明会等を通じて、事業内容の共通理解の促進を図っている。</p>		

改善できる点／改善方法：

#### I-4 保育の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 週案の検討を通じてPDCAサイクルを機能させるとともに、自己評価チェックリストを活用した年2回の自己評価及び面談を実施している。人権や不適切な保育に関するチェックリストも活用し、保育の質の継続的な向上に努めている。また、定期的な第三者評価の受審と期首・期中・期末のフィードバック面談を通じて、振り返りの仕組みを整えている。		
改善できる点／改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 職員の自己評価及び第三者評価の受審結果を踏まえて把握した課題については、職員会議における協議を通じて改善策を立案し、実践へと反映させている。また、研修を通じて学びの共有を図り、保育の質の向上につなげている。		
改善できる点／改善方法：		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 職務分掌表に園長の役割と責任を明文化するとともに、職員会議や研修等の機会を通じて職員への周知を図っている。また、災害等の緊急時における役割と対応についても明確化している。		
改善できる点／改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点：		

法令遵守に関する研修への積極的な参加を通じて最新の知識・情報を習得し、職員会議等を通じた組織内への周知・共有によりコンプライアンス意識の向上に努めている。	
改善できる点／改善方法：	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。
(a)・b・c	
良い点／工夫されている点： 自己評価や職員会議等を通じて組織的な課題把握に努めるとともに、外部講師を招いた職員研修を充実させている。研修にあたっては事前に園の課題を講師と共有することで、実践的な学びの場となるよう工夫している。また、公開保育や講演会、事例研究等を通じた多様な研修機会の確保により、保育の質の継続的な向上に取り組んでいる。	
改善できる点／改善方法：	
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。
(a)・b・c	
良い点／工夫されている点： 人材確保・育成、ICT化の推進、書類の簡素化など業務改善を主導している。職員の希望・特性を尊重した適材適所の人事配置を重視し、経験年数や専門性のバランスを考慮した職員構成により、経営体質の強化に向けた取り組みを行っている。	
改善できる点／改善方法：	

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 大学・養成校への求人活動に加え、人材紹介や就職フェアの活用等、多様な求人チャネルを通じた人材確保に努めている。各クラスにおいて保育指針の基準を上回る人員配置を維持し、職員の育成と働きやすい職場環境の整備による定着促進にも取り組んでいる。		
改善できる点／改善方法：		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 採用時に園の理念・方針への共感を十分に伝えるとともに、既存職員にも年度初めに再確認の機会を設けている。客観的な評価基準に基づく人事考課・処遇改善と職員の意向を踏まえた人事配置によ		

り、総合的な人事管理を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>有給消化率や時間外労働を定期的に把握し、必要に応じた個別面談を通じて職員が相談しやすい環境づくりに努めている。園児数の変動や発達状況に応じた柔軟な職員配置により、就業環境の継続的な改善を図っている。また、有給取得の促進や家庭の事情に配慮した勤務形態の整備、ワーク・ライフ・バランスの推進など、働きやすい職場環境の実現に向けた取り組みを進めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>目標管理制度に基づき、年度当初の目標設定から期中のフィードバック面談、期末の達成評価までを体系的に実施している。自己評価を年3回実施するとともに、中間面談を通じて目標達成に向けた支援を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年間研修計画を策定し、法人のスーパーバイザーによる定期的な研修をはじめ、園内外の研修や公開保育、事例研究など多様な研修機会を体系的に整備している。新人研修やOJTによる育成支援に加え、経験年数に応じたキャリアアップ研修の受講も推進している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>新人研修やOJT指導、階層別・テーマ別研修、事例研究等の多様な研修を体系的に実施し、研修機会の充実を図っている。また、外部研修情報の提供やシフト調整等、職員が自己課題に応じた研修に参加しやすい環境を整えている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>実習生受け入れマニュアルを整備し、保育士養成校と連携しながら積極的に実習生を受け入れている。担任による日常的な実習指導に加え、園長による講話や部分実習への指導等、組織的な指導体制を整えている。また、オリエンテーションや振り返りカンファレンスを通じて、実習生が意欲的に実習に取り組めるよう環境整備に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

## II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人ホームページを通じて、施設概要、サービス内容、決算情報等の園運営に関する情報を公開し、運営の透明性確保に努めている。現在、園独自のホームページを更新中であり、令和8年度中の公開を予定している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人において経理規程等を整備し、事務分掌を明文化するとともに、事務・経理・取引等のルール化を図っている。評議員会によるチェックや会計事務所による定期的な指導のもと、適正な運営に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉠・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>食育活動の一環として、地域住民との栽培活動をはじめ、近隣中学校の「乳幼児との触れ合い体験</p>		

<p>」や職場体験・職場見学の受け入れ等を通じた中学生との交流を実施している。また、地域行事への参加や園児の参加促進等、幅広い地域交流に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
24	<p>Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	<p>㉑・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>乳幼児との触れ合い体験をきっかけに継続的な交流を希望する中学生の受け入れも行っている。また、地域の農家による稲作・野菜・果物の栽培等の農業体験への協力を得る等、地域との協働体制を整えている。コロナ禍以降、ボランティアの受け入れに制約が生じている状況が続いているものの、積極的な受け入れに努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
25	<p>Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	<p>㉑・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>市担当課や保健センター、医療機関、地域の学校、自治会、民生委員児童委員等、地域の関係機関・関係団体との連携を密に図っている。さらに、子ども支援センターや児童発達支援事業所等、個々のニーズに応じた関係機関と協働し、子どもの最善の利益の実現に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
26	<p>Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</p>	<p>㉑・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の福祉・子育てニーズの把握に向け、地域活動への参加や園庭開放、子育て相談等を通じた取り組みを継続的に実施している。今年度は園舎建設・移転に伴い一部活動の実施が困難な状況にあるが、次年度以降も引き続きこれらの取り組みを継続する予定である。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
27	<p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	<p>㉑・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の子育て拠点施設として、園庭開放や子育て相談、地域行事への参加等、地域のニーズに応じた公益的な活動に取り組んでいる。地域の各種委員会や協議会に園長が委員として参加するとともに、園児も地域行事に積極的に参加し、幅広い地域交流を推進している。また、随時の子育て相談受付や一時預かり保育等、地域のニーズに応じた柔軟な支援体制を整えている。</p>		

改善できる点／改善方法：

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 一人ひとりの子どもの人格を尊重し、その成育背景を含めた発達の状況を職員間で共通理解した上で、それぞれの発達に応じた環境づくりと保育の実践に努めている。また、人権擁護のためのセルフチェックを定期的実施し、結果を職員間で共有するとともに、保育の振り返りを通じた継続的な改善を図っている。		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 子どものプライバシー保護に関するマニュアルを整備し、研修を通じた職員の意識向上及び守秘義務の徹底に努めている。また、日常的な保育場面においても、遮蔽設備の設置や着替え時のプライバシーへの配慮等、具体的な取り組みを実践している。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： ホームページでの情報発信やリーフレット・重要事項説明書の配布を通じて、保育所選択に必要な情報をわかりやすく提供している。また、見学希望に対しては随時対応し、個別に丁寧な説明を行う等、利用者の問い合わせに積極的に対応している。		
改善できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c
良い点／工夫されている点： 入園時にはリーフレットや重要事項説明書を用いてわかりやすく説明し、利用契約を締結している		

<p>。年度初めには重要事項説明書を配布するとともに、各種たよりを通じた継続的な情報提供に努めている。また、配慮が必要な場合には、園長・担任・事務職員が連携して個別対応にあたっている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
32	<p>Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育サービスの変更や転園に際しては、子どもの生活の継続性に配慮した対応を行っている。就学時には進学先の小学校へ指導要録等を送付し、子どもの育ちの継続を保障している。また、保育修了後も健康の記録や児童票の引き継ぎを行うとともに、園長を窓口とした相談体制を整えている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。</p>		
33	<p>Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取り組んでいる。</p>	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育参観を「保育参加」として拡充し、保護者の就労状況に配慮した時間帯設定のもと、保護者が実際の園生活を共に体験できる機会を設けている。保育参加後にはアンケートを実施し、保護者の意向を職員間で共有して保育に反映させるとともに、利用者満足度の把握と職員会議での検討を通じた改善に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	<p>Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p>	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>苦情解決の体制については、園長・副園長を窓口とし、第三者委員を設置する等、苦情解決の仕組みを整備している。園内へのポスター掲示により利用者への周知を図るとともに、積極的かつ迅速な対応に努める等、仕組みが機能している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
35	<p>Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。</p>	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>送迎時の積極的な声かけや個別スペースの確保等、保護者が相談・意見を述べやすい環境づくりに努めている。全園児を対象に連絡ノートを活用し、保護者の思いを日常的に把握するとともに、一人ひとりの家庭状況に寄り添いながら、保護者と協力して子育てに取り組む関係の構築に努めている。</p>		

改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>日頃から保護者との積極的な関わりを通じて、気軽に意見を伝えられる関係づくりに努めている。保護者からの苦情だけでなく、提案や意見についても速やかに管理職へ報告し、全職員で共有し、対応する体制を整えている。対応にあたっては経過を丁寧に説明し、保護者が園運営に参画できる環境づくりを大切にしている。また、対応マニュアルに基づく迅速な対応と、必要に応じた個別面談により、保護者との信頼関係を深めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの安全確保に向けた各種マニュアルを整備し、対応手順を明確化している。毎月の事故予防に関する事前周知や、ヒヤリハット事例の収集・職員会議での検討を通じて、安全確認と再発防止に取り組んでいる。また、定期的な研修を通じて事故発生の予防意識の向上を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>感染症対応マニュアルを整備し、研修の実施や日常的な消毒・換気・健康チェックの徹底等、組織的な感染予防対策を講じている。感染症の発生状況は園舎入口に掲示し、施設利用者全員が把握できる体制を整えている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>火災・地震・水害・不審者対応等、多様な事態を想定した避難訓練を毎月実施するとともに、保護者参加型のお迎え避難訓練も行っている。消防署立ち合いのもと、通報・消火訓練を年2回実施し、実践的な対応力の向上に努めている。また、非常用備蓄や発電機の整備等、災害への備えを強化している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育理念・方針に基づき、全体的な計画から指導計画・月案・週案・日案に至る体系的な計画体制を整備し、質の高い保育実践を展開している。また、各種マニュアルを整備し、職員会議や研修等を通じて、職員への周知・徹底に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>月案・週案・日案を定期的に提出し、保育内容の検証と見直しを継続的に行い、実践へ反映させている。また、各種規程・マニュアルの定期的な見直しと職員会議における支援方法の検討を通じて、保育サービスの標準化に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>教育・保育要領に基づく保育課程（全体的な計画）を策定し、これを基軸とした指導計画を立案している。アセスメントについては統一した様式と手順を定め、組織的に実施している。また、個々のニーズに応じて関係機関と連携しながら、アセスメントに基づいた指導計画を策定している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>指導計画の見直しについては、職員間で課題を共有し、職員会議での評価・分析を通じて定期的かつ随時実施している。全職員が一堂に会した評価・見直しが困難な状況においても、日常的なコミュニケーションを通じて共有に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		

44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子ども一人ひとりの保育実践や育ちを「私の記録」として丁寧に記録し、職員会議での情報共有や管理職による指導を通じて記録の標準化に努めている。また、記録内容を保育実践に活かすことで、保育の質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>記録の管理体制については、個人情報保護規程が整備されており、記録の保管・保存・廃棄を適切に管理しているICT化を推進しており、データはPCセキュリティ管理を行い、記録文書は鍵付きロッカーに保管する等、厳重な管理を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

## 評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

### 評価対象Ⅳ 保育内容

#### Ⅳ－１ 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育所の理念・方針を踏まえた全体的な計画が丁寧に整備されており、子どもの発達状況や家庭・地域の実態を大切にしながら計画づくりに取り組む姿勢が伝わってくる。また、月1回の運営委員会を中心に、出席した職員一人ひとりが意見を出し合える場を継続して確保している。民営化3年目という大切な節目において、理念の理解を深め、職員体制を確認し合う取り組みを積み重ねていることは、園が一丸となって方向性を育んでいく上で意義深い。そして、理事長が委員会に参加し、計画の妥当性をともに確かめ合う機会を持つことで、園全体に信頼と一体感が育まれていることも心強い。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

#### Ⅳ－２ 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１） 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>竣工したばかりの園舎は明るく清潔で、子どもが毎日を心地よく過ごせる環境が整えられている。広いテラスは天候に応じて活動を切り替えられる場となり、各クラスには落ち着いて過ごせるコーナーが確保されている。ホールや階段周りには本棚が配置され、子どもたちが思い思いに遊びや絵本に親しむ姿が見られる。ランチルームを含む多様な空間が、それぞれ独自の雰囲気を持ち、子どもが安心して生活し遊びに没頭できる環境を支えている。県産木材の温もりに包まれた園舎全体が、子どもの生活にふさわしい落ち着きと快適さを生み出している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－２－（２） 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・(b)・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子ども一人ひとりの姿を共有し、興味や関心を引き出す環境づくりを進めながら、自主性を尊重した遊びや活動を丁寧に支えている。また、全ての保育者が共通の視点で子どもを理解できるよう、週1回のスーパーバイザーによる指導に加え、大学の専門家からの助言も年2回受け、穏やかな関わりや寄り添う姿勢を大切にされた保育力の向上に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>今後は、子どもの姿の記録を基に話し合う機会を設けることで、子ども理解の視点を深め合い、保育者同士が互いの力量を高めていく場づくりが期待される。</p>	
Ⅳ－２－（３） 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>家庭との連携を大切にしながら、子どもが基本的な生活習慣を身につけられるよう、保育者と保護者が情報を共有し、同じ方向性で援助を進めている。0～2歳児室は保育室から直接トイレへ行ける設計となっており、プライバシーに配慮した環境の中で、一人ひとりのペースを尊重した無理のない排泄支援が行われている。また、毎月の保健だよりや歯磨きチェックカレンダーを通して家庭とも協力し、生活習慣の定着を図っている。</p>	

改善できる点／改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>新園舎建築に伴い園庭が使えない期間も、隣接する神社や近隣公園など地域の資源を活用し、子どもが主体的に遊びを広げられる環境を確保している。園内では、年齢に応じた環境設定を行い、幼児が自由に行き来できる空間を整えているため、自然な異年齢交流が生まれ、遊びが豊かに展開されている。雨天時にはホールで体を動かす工夫もあり、子どもが「やりたい」と思ったときにすぐ活動できるよう配慮されている。新園舎には吊り下げ遊具を設置するなど、発達に応じた多様な運動遊びができるよう園庭環境も計画的に整備されている。また、職員の経験の違いを補い合うため、法人スーパーバイザーによる研修を年1～2回実施し、主体的な遊びや環境づくりについて学び合う体制が築かれている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>乳児が安心して過ごせるよう、保育者が一人ひとりとゆったり関わり、信頼できる大人のもとで生活できる環境を大切にしている。家庭との連携にも力を入れ、「育児日記」を通して家庭と園の様子を丁寧に共有し、子どもが無理なく園生活に馴染めるよう配慮している。また、日々の子どもの姿は保育者間でこまめに共有され、興味や関心、自ら育とうとする姿を踏まえて玩具や環境が整えられている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(6) 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、情緒の安定を大切にしたい関わりが丁寧に行われている。月齢差に応じて生活や遊びの時間を調整し、保育者の都合で急かすことのない、子どものペースを尊重した保育が実践されている。1～2歳児の保育室では、発達の違いに応じてスペースや玩具の量を工夫し、子どもが安心して遊びに集中できる環境が整えられている。また、2歳児クラスでは、3歳児期を見据え、多様な素材や遊びの場を広く確保する等、発達に応じた環境づくりが進められている。日々の子どもの姿は保育者間で共有され、午睡時の意見交換を通して理解を深めながら、受容的・応答的な見守りのもとで主体的な遊びが支えられている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもが自分で遊びを選び、主体的に活動できるよう環境が丁寧に整えられている。保育者は子どもの「やってみよう」という気持ちを受け止め、年齢に応じた育ちを見据えながら遊びの場や素材を工夫している。保育室は、夢中になって取り組んだり、友達とイメージを交わしながら遊びを広げたりできる共同の場として機能しており、子ども同士の協力や関わりが自然に生まれている。また、日々の活動は写真やエピソードを添えて連絡ノートやお便りで保護者に伝えられ、家庭との共有が保育理解の促進につながっている。給食やおやつをランチルームでとることで、活動と生活の場がつながり、子どもが一日の流れをイメージしやすいよう配慮されている。</p>	

改善できる点／改善方法：	
IV-2-（8） 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>新園舎はスロープや吊り下げドアを採用し、段差をなくす等、バリアフリーに配慮した設計となっており、誰もが安心して過ごせる環境が整えられている。個別の指導計画に基づき、配慮が必要な子どもには加配保育者を配置し、日々の姿や記録をクラスの計画にも反映させながら、柔軟で一貫した支援が行われている。また、園全体で統合保育を大切にしており、1階中央の広いフロアでは、年齢やクラスを越えて子ども同士が自然に関わり合い、興味を表現できる場となっている。保育者はその姿を丁寧に受け止め、子どもが育ち合う機会を広げる関わりを心がけている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-（9） それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>早朝保育・核となる保育・長時間保育に保育者を明確に配置し、どの時間帯でも子どもが安心して過ごせるよう配慮している。送迎チェック表を活用した連絡事項の共有や、3歳以上児が自由に利用できる給水機の設置等、在園時間に応じた環境づくりも進められている。一方で、担当保育者の交代時の引継ぎ方法が明確でない点は、今後の改善が期待される。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-（10） 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園生活の中に小学校を意識した時間の使い方を取り入れ、子どもが安心して就学を迎えられるよう丁寧に言葉がけを行っている。「保育所保育要録」は担任が責任をもって作成し、小学校へ確実に情報を届けている。また、幼保小連携事業や中学生の体験学習を通して、小学校以降の姿を見通しながら関わる機会が設けられている。5歳児の計画は「アプローチカリキュラム」に基づき、就学に向けた育ちを段階的に支えている。さらに、小学校とは必要に応じて連絡を取り合い、さまざまな立場の教員が来園して子どもの姿を共有する等、切れ目のない支援につながる連携が図られている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

### IV-3 健康管理

第三者評価結果	
IV-3-（1） 子どもの健康管理を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>養護教諭が毎月発行する「ほけんだより」を通して、子どもの健康や生活習慣、病気に関する情報をわかりやすく発信し、家庭との連携を大切にしている。保育者も連絡ノートや送迎時の会話を通じて、日々の健康状態を丁寧に共有しており、保護者が安心して子どもを預けられる体制が整っている。また、子どもがり患した際には養護教諭が中心となって適切に対応している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 内科・歯科健診を年2回、眼科・耳鼻科・検尿を年1回実施し、その結果を養護教諭から保育者へ共有したうえで、保護者へ丁寧に伝達している。健診結果は職員会議や週案打ち合わせでも確認され、配慮事項や対応方法について共通理解を図りながら、日々の保育に反映されている。また、経過観察が必要な子どもの情報も保育者全体で共有している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 入所時にアレルギーに関する問診を行い、除去食が必要な子どもについては医師作成の「アレルギー対応指示書」を提出してもらい、確実な情報把握に努めている。その上で、「保育所食物アレルギー児の給食マニュアル」に基づき、指示書と献立表をもとに保護者面談を行い、安全な食事提供につなげている。面談には保護者・調理員・担任・養護教諭が同席し、翌月の対応を丁寧に確認しているほか、初めて食べる食材を避けられるよう成分表を添えた献立表を配布する等、事故防止に向けた工夫も徹底されている。また、給食・おやつ提供時には給食室・職員室・保育室で複数のチェックを行い、園全体で一貫した対応が取られている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

#### IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 市の献立表を基に調理職員が中心となり、食事を提供しており、新園舎のランチルームでは、子どもが好きな席でゆったりと食事を楽しめる環境が整えられている。未満児については、登園時刻やお腹のすき具合、朝食の様子などを保育者が丁寧に見極め、時間差をつけて無理なく食事ができるよう配慮されている。こうした柔軟な対応により、子ども一人ひとりが自分のペースで食事を味わい、安心して「食べる楽しさ」を感じられる環境がつけられている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点： 「岐阜市保育所給食衛生管理マニュアル」に基づき、安全に配慮した給食が調理・提供されている。調理員や保育者が子どもの食欲や嗜好、咀嚼の様子、食具の使い方を丁寧に確認しながら配膳し、必要に応じて調理法を工夫する等、一人ひとりの成長に寄り添った対応が行われている。ランチルームでは調理員や栄養士が子どもの食事の様子を見守り、声をかけながら関わることで、子どもが安心しておいしく食べられる環境が整えられている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

#### 評価対象V 子育て支援 V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1-(1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	①・b・c
<p>良い点/工夫されている点：  登降園システムのIT化により連絡が簡潔になった一方で、送迎時には職員が積極的に声をかけ、保護者との直接のコミュニケーションを大切にしている。未満児は「育児日記」、3歳以上児は連絡ノートを通して日々の様子を共有し、支援が必要な子どもについても丁寧に情報をつないでいる。さらに、担任の思いが込められたクラス便りが隔週で発行され、写真やエピソードを交えて保育の意図や子どもの成長をわかりやすく伝えており、家庭との連携を深める取り組みとなっている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

## V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	①・b・c
<p>良い点/工夫されている点：  子どもの様子や保護者の思いに応じて面談を行い、必要に応じて園長も同席することで、落ち着いて相談できる体制が整えられている。また、保育参加や懇談にはすべての保護者が参加できるよう、日程調整を丁寧に行い、子どもの成長や発達を共有し合える機会を大切にしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	①・b・c
<p>良い点/工夫されている点：  日々の視診や保護者とのやり取りの中で気になる点があった場合、速やかに園長へ報告し、必要に応じて対応を検討する体制が整えられている。「エールぎふ」の家庭児童相談係とも連携し、要保護児童の早期発見と適切な支援につなげている。現在支援が必要な子どもについては、月1回の報告と情報共有を継続し、関係機関と協力しながら子どもの安全を守る取り組みが進められている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

## 評価対象VI 保育の質の向上

### VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
VI-1-(1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	①・b・c
<p>良い点/工夫されている点：  職員の負担軽減にも配慮し、今年度から自己評価表を記述式からチェック方式へと見直し、前期・後期の年2回実施している。保育者が自身の保育を振り返る機会として活用されており、結果は今後、園全体の課題整理や改善につなげていくことが期待される。また、自己評価の内容を週案研修や職員研修で共有し、専門性向上に向けた話し合いに活かしていく予定であり、保育の質を高める取り組みが継続的に進められている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

## 評価対象VII 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

### Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
VII-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：  防犯カメラを園舎内外に設置し、常時映像を確認できる体制を整えるとともに、セキュリティシステムを完備し、安全確保に努めている。登降園時には職員が玄関に立ち、不審者の侵入を未然に防ぐよう見守りを強めている。玄関は二重の空間構造とするなど、防犯面への配慮が随所に施されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
VII-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：  年度当初に年間行事計画を示し、保護者が参加しやすいよう丁寧に案内している。保育参加では、個別やグループで保育を体験できる時間を設け、子どもの姿や園の保育を実感できる機会となっている。当初は戸惑いもあったが、体験の価値が伝わり、現在は好評である。また、園だより等で繰り返し案内し、参加できなかった保護者には振り返りの機会を設ける等、柔軟に対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
VII-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：  保護者会の運営が保護者の負担にならないよう、役員数の見直しや役割の簡素化等、保護者会と相談しながら無理のない体制づくりを進めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
VII-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：  園長は校区の小学校運営協議会に参加し、園での子どもの姿を伝えるとともに、就学に向けた情報を学校と共有し、スムーズな移行につながる連携を図っている。また、同法人の子ども園や幼稚園とも定期的に情報交換を行い、得られた知見を園運営に活かしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	